

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 1932

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

中林 かずえ
宝町4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮155-8
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

みんなのまち条例に 住民投票制度をもちこむべき

市政の重要事項 直接住民の意志を 確認することが必要

3月議会で、党議員団は「みんなのまちづくり条例」の制定について基本となる4点を主張しました。

第1に、「市民の役割」や「行政との協働」の名で、行政の公的責任を市民に転嫁するのではなく、「市民がまちづくりの主役」であることを明記すべきであること。

第2に、市民の市政に関する「情報を知る権利」を明記すること。また、行政が政策等を立案する意思形成の段階や事前の実施段階、事後の評価段階においても説明会や公聴会

等、市民の意見を反映できる制度にすべきであること。

第3に、市長や執行機関は、政策決定の過程を明らかにし、市民にわかりやすく説明する責任を明記すべきであること。

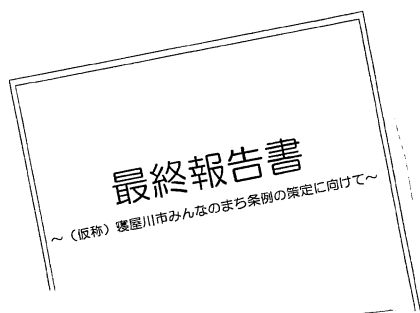
第4に、莫大な市税を投入する新たな施策や、市政に将来的に大きな影響を及ぼすような重要課題については、市民の声を直接反映することができ

る「住民投票制度」をいれることなどです。

みなさんのご意見を お寄せください

寝屋川市は、2つの小学校の廃校問題をはじめ、4市の廃プラ処理施設建設問題、あやめ保育所の民営化問題においても、計画段階で十分な市民への説明責任をはたしてきませんでした。

3月初めに公表された(仮)称みんなのまち条例検討委員会の最終報告書には、「市は、市政にかかる重要事項について、直接、住民の意思を確認するため、住民投票の制度を設けることが必要」と報告されています。



今、庁内で「寝屋川市まちづくり条例案」の検討が始まっています。今後パブリックコメントもおこなわれますが、市民の皆さんのご意見を広くお聞かせください。



二〇日、大阪高等裁判所は大東市立上三箇保育所の廃止・民営化によって子ども達に損害を与えたとして、大東市に全国初の損害賠償を命じた▼民営化そのものの違法性と条例取り消しは認めなかったものの、子どもを犠牲にした大東市の民営化を裁判所が明確に断罪したもので、大きな勝利判決となりました▼裁判所は大東市が「①民営化方針や実施方法、新保育園の保育内容や引き継ぎ方法等についても保護者の希望や意見を取り入れなかったこと、②保育に当たっては保育士と保護者との信頼関係が重要であるのに、3か月の引き継ぎ期間で数名の保育士が参加しただけでは、信頼関係の構築は難しいこと、③保育士が全員交替し新保育園の保育士は、経験年数の少ないものが多いことが予定されていた」として、子どもへの精神的負担、児童への重大な危険が生じかねない状況や混乱が生じたことを認定し、「万全の対応をとった」との大東市の主張を事実上照らして否定したものです▼この判決が指摘したことはあやめ保育所でも同様のことが問題となつていきます。寝屋川でも理不尽な「市保育所民営化方針」の撤回をすべきです。

法律相談

とき: 5月18日(木) PM6:30~
ところ: 寝屋川市市民会館第3・4会議室
☎824-1181(内2399)

弁護士がご相談にのります。遠慮なくお越しください。

お問い合わせは市会議員団まで



19日、党議員団は、市内長栄寺町の身体障害者デイサービスセンター

ター「ぼちぼちハウス」を視察しました。利用者は、すばる。

身体障害者施設

「ぼちぼちハウス」を訪問

北斗福祉作業所の卒業生が多く、現在10人が登録をしています。が、他の施設で受け入れが困難な重度障害者を受けていれています。10月からの障害者自立支援法の実施で、運営が心配されますが、小規模の良さを生かしてがんばっています。数少ない重度身障者の施設への行政の支援がもとめられます。

グレーゾーン(灰色金利)撤廃を

サラ金の暴利ただせ 日本共産党が国会で追及

法曹関係者や被害者団体の強い運動を受けてサラ金の「グレーゾーン金利」見直しの動きが加速しています。サラ金等の金利の上限は2つの法律で規制されています。1つが利息制限法で元金100万円以上は15%、10万円以上

100万円未満は18%、10万円未満は20%で、これを越える金利は無効ですが罰則規定はありません。一方、出資法は上限金利29.2%で違反すると刑事罰の対象になります。2つの上限金利の差が「グレーゾーン金利」

と言われ、貸金業規制法の「見なし弁済」で借り手の意思で利息を払った場合に限って認める高金利です。日本共産党の大門参議院議員は3月の予算委員会、サラ金大手各社が銀行から1%台の金利で調達した資金を20数%で貸付け、

膨大な利益を上げていると指摘。グレーゾーンの撤廃を求めました。1月には最高裁が事実上「グレーゾーン金利」を認めない判決を示し、4月には大手「アイフル」に違法取り立てでの業務停止命令がだされました。



街の至る所にサラ金の看板が

「多重債務の相談」に長年取り組んできた、寝屋川民主商工会の担当者Mさんは「当然の一步がようやく踏み出せた。引き続き救済に奮闘したい。」と語っています。

議員日誌



中林かずえ

月2回私の市政相談所で「何でも相談会」が開かれています。相談がない日もあれば、事務所が開いているので寄る人もあり、相談終了後、相談員も相談者も一緒になって「座談会」になったりします。一人の人の悩みに対してみんなで「こうしたらいい」とかいろいろ意見が出さ

れます。そういう時は、みんなの個性や、やさしい気持ちを感ずたり、人生の大先輩の女性相談者から苦労話を聞いたり、健康・節約料理法を学ぶこともあります。事務所が人のふれあいを大切にできる楽しい空間であってほしいと願っています。